

協力していただいた調査結果をもとに  
皆さまの声に対応したまちづくりを検討します。

鉄道からバスへの乗り継ぎを  
便利にして欲しい

車を運転できなくても  
快適に移動したい

安全で快適に通行できる  
道路を作って欲しい。

高齢者などが歩いて暮らせる  
コンパクトなまちになって欲しい

地球温暖化など、環境問題に  
対応したまちになって欲しい

駅へ向う道路を渋滞しない道路  
にして、駐車場もつくて欲しい。

中心市街地がもっとにぎあう  
まちになって欲しい

ずっと住みつづけたいと  
思えるまちになって欲しい

## 調査対象地域と回答方法

### 調査対象地域

高松市 丸亀市 坂出市 善通寺市 観音寺市  
さぬき市 東かがわ市 三豊市 三木町 宇多津町  
綾川町 琴平町 多度津町 まんのう町  
(島しょ部を除く)

### 回答方法

回答は、同封の調査票にご記入いただくか、WEBの回答画面からご回答ください。高松PT

### お問合せ先

調査実施についてのお問合せ先

高松広域都市圏総合都市交通体系調査委員会 (事務局：香川県都市計画課)  
〒760-8570 香川県高松市番町四丁目1番10号  
TEL:087-832-3557  
(午前8時30分～午後5時15分土曜・日曜・祝日を除く)

調査内容(記入方法・調査票の不足など)についてのお問い合わせ先

高松広域都市圏パーソントリップ調査 実施本部  
TEL:0120-363-730

(フリーダイヤル)

(平成24年10月1日(月)～11月27日(火) 午前9時～午後6時 日曜・祝日を除く)

## 高松広域都市圏パーソントリップ調査への ご協力をお願い

県民の皆様には、日頃から、県政の推進に格別のご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

近年、人口減少や少子高齢化の進行、経済のグローバル化、中心市街地の空洞化など社会経済情勢が大きく変化しています。このため、香川県では、高松市などと協力して、高松広域都市圏における人々の交通行動を調査し、その実態を把握することとしました。

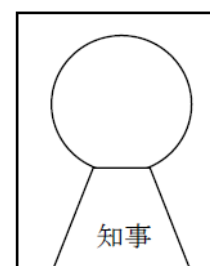
この調査は、皆様がある一日に外出されたかどうか、また、外出された場合、「いつ」「どこに」「どのような交通手段で」移動されたかなどについてお聞きするものです。

このたび、県内にお住まいの方から調査にご協力いただく方を無作為に抽出させていただいたところ、あなた様のご家庭が対象となりました。皆様からいただいたご回答は、交通政策や防災計画などさまざまな分野で活用され、将来の快適で住みやすいまちづくりのための貴重なデータとなります。

なお、回答内容は、統計的に処理を行うものであり、個々の内容を公表することはありません。また、調査目的以外には一切使用いたしません。

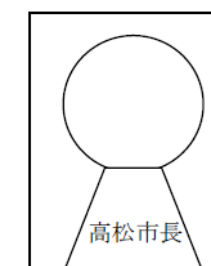
つきましては、調査の趣旨をご理解いただき、回答へのご協力をお願い申し上げます。

平成24年10月



香川県知事

浜田 恵造



高松市長

大西 秀人

# 快適で住みやすいまちづくりにむけて

## パーソントリップ調査とは?

ある一日に外出されたかどうか、また、外出された場合、「いつ」「どこに」「どのような交通手段で」移動されたかなどについて、お聞きするものです。



## 調査結果の活用方法は?

調査結果は、「都市計画」「交通計画」「防災計画」「環境対策」など、さまざまな分野で活用され、これからの快適で住みやすいまちづくりのための貴重な情報となります。

### 都市計画 集約型のまちづくりに向けて

これまでの都市では、市街地が拡散したことや、車社会が進んだことにより、公共交通利用者の減少、それに伴うサービスレベルの低下、また、中心市街地の衰退などが進んできました。

人口減少、超高齢社会の到来などを見据えると、都市機能の市街地への集約や公共交通の充実、郊外への新たな都市基盤(道路、上下水道など)整備を抑制することが必要です。

パーソントリップ調査では、どこからどこへ、どのような目的で人が移動しているかがわかります。

▶ 人口減少・超高齢社会の到来に対応した、地域の中心部に都市機能を集約させたまちづくりの検討に活用できます。



### 交通計画 公共交通(鉄道・バス)の利便性の向上

駅ごとに、どれだけの人が、どのような交通手段を使って集まっているかがわかります。

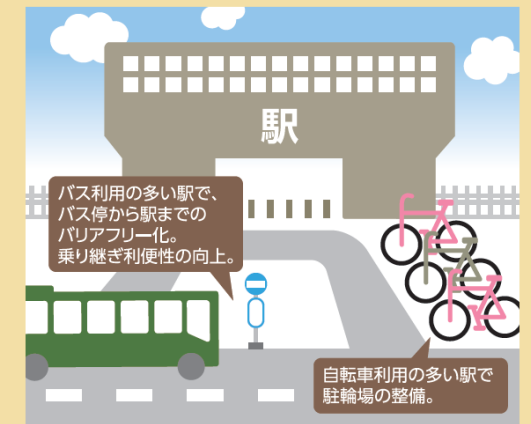
▶ 駅前での自動車・自転車・バスと鉄道との乗り継ぎの利便性の向上を図るため、交通結節点の改善計画などに活用できます。

高齢の方などが、どこからどこへ移動しているかがわかります。

▶ 市町コミュニティバスの計画などに活用できます。

いつ、どこからどこへ鉄道や路線バスが利用されているかがわかります。

▶ 鉄道の利便性向上(新駅設置、増便、スピードアップなど)や路線バス網の再編などの検討に活用できます。



### 防災計画 災害に強いまちづくりに向けた避難計画

いつ、どこに、どれだけの人が滞在しているかがわかります。

▶ 災害時を想定した避難場所、避難経路など、円滑な避難のための検討に活用できます。



### 環境対策 自動車交通による地球環境への影響改善

(CO<sub>2</sub>排出量の予測など)

どれだけの人が、どのような交通手段を使ってどの程度の距離を移動しているかがわかります。

▶ 自動車などの交通による今後のCO<sub>2</sub>排出量の予測に活用できます。

